

# 100キロ 徒歩の旅へGO

## 児童98人 掛け声響かせ

尾道

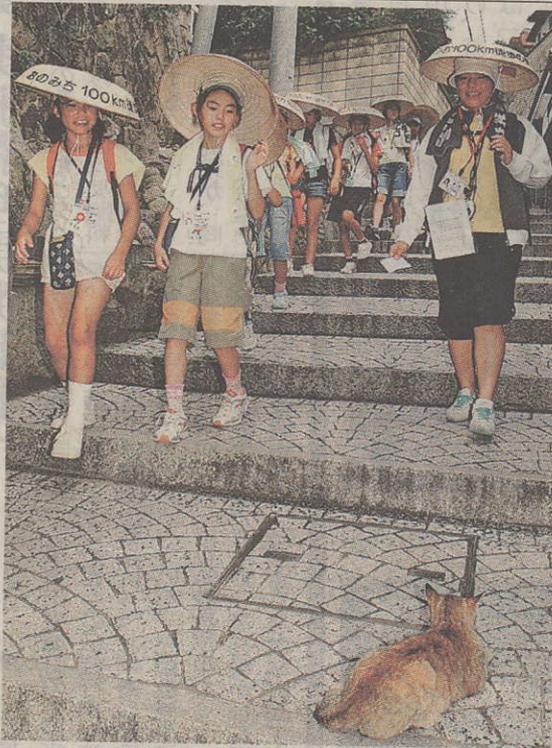
小学生が四泊五日かけ、初日は一三・六キロを歩いた。

尾道市内の百キロを歩く「おのみち100キロ徒歩の旅」(同実行委主催)が六日、始まった。県東部などの四一六年生九十八人が参加し、炎天下を汗だくで歩いた。

児童たちは午前九時、家族ら約百五十人の声援を受けて千光寺公園(西土堂町)を出発。日よけのかさをかぶり、首にタオルを巻いて千光寺山の石段を下り、瑠璃山の頂上(一七八・八七)まで登った。午後三時すぎに宿泊場所の三成小に着

き、初日は一三・六キロを歩いた。四年の久田見祥吾君(9)は「みんなで掛け声を出して歩いたら足の痛みも

感じなかった。絶対に完歩する」と誓っていた。実行委が二〇〇三年から開き、今年で五回目。七日以降は御調町や向島、因島を歩き、十日午後にはJR尾道駅前でゴールする。(榎本直樹)



千光寺山の石段を下る児童たち